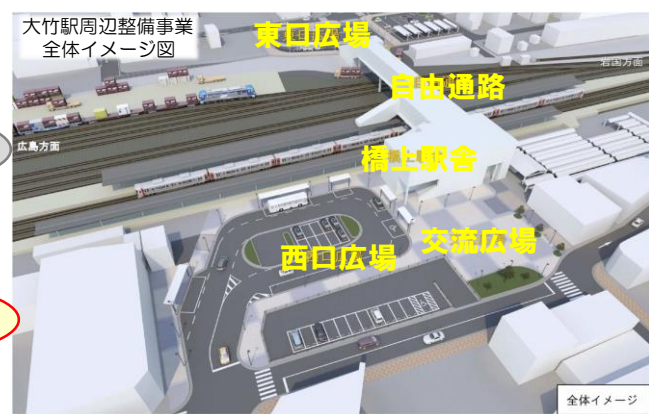
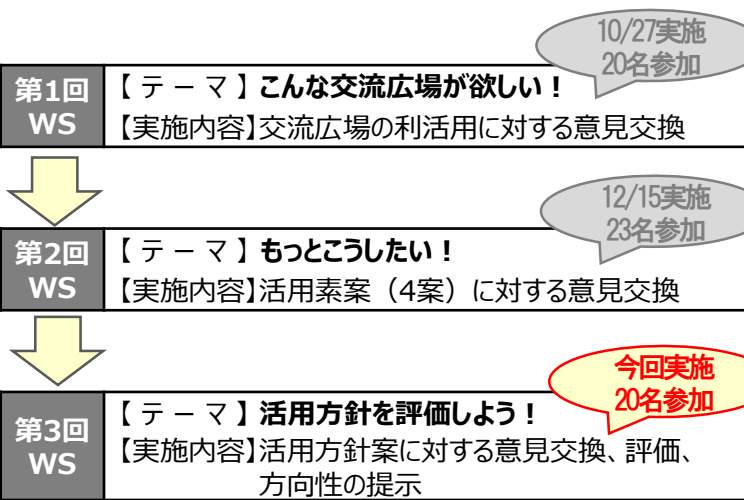


大竹市では、JR大竹駅を大竹市の玄関口として便利で魅力的な駅前広場にするため、検討を進めています。このニュースレターでは、大竹市民を中心として構成された「大竹駅西口交流広場の活用方針策定ワークショップ」における検討の状況や結果についてお伝えします。

### ワークショップの概要

大竹駅西口広場の整備の課題の1つに「市民や訪問者が集えるような広場や空間がない」ことが挙げられています。

そのため、市民と行政が一緒になって交流広場の活用方針を決め、整備が進めていけるように、「こんな利用ができればいいな」や「こんなイベントができると賑わいが生まれそう」、「あんなふうを集えたらいいな」など交流広場の活用について話し合うワークショップを開催しました。



▲ワークショップの流れ

▲大竹駅の全体整備イメージ

### 第2回ワークショップのおさらい

第2回ワークショップ（令和元年12月15日）では、「もっとこうしたい！」をテーマにテーブルワークを行いました。主な意見は以下の通りです。

#### 主な意見

- 様々なイベントに対応できるように、中央を広い空間にしたい！
- 大竹市をアピールできるモニュメントを設置したい！
- 曲線を使った柔らかいデザインにしたい！
- フリマ、マルシェ、スポーツ、音楽等の各種イベントに利用したい！
- 各種イベントに対応できるように広いスペースを確保したい！
- 交流広場全体に木や花を植えたい！
- 子供たちの学習の場として活用したい！
- 朝市などのイベントを定期的で開催したい！
- イベント利用やコミュニティ発表に活用したいので、屋根付きのステージを設置したい！
- シンボルツリーを設置したい！
- 大竹の文化を発信するモニュメントを設置したい！

## 第3回ワークショップの様子

第3回ワークショップ（令和2年2月2日）では、第2回ワークショップ（令和元年12月15日）の意見を踏まえて作成した活用方針案について

**「活用方針を評価しよう！」**をテーマにテーブルワークを行いました！！

### ▼テーブルワークの流れ

#### 【Step-1】評価基準の設定

活用方針案を評価するための基準として以下の5つの基準を考えてもらいました。

- ① イベントしやすいか
- ② 大竹の顔になるか
- ③ 憩いの場になるか
- ④ みんなで守り育てられるか
- ⑤ 歩行者が歩きやすいか

#### 【Step-2】各案の評価

評価基準に基づき各案の良いところ、悪いところを評価してもらいました。

#### 【Step-3】発表

各グループの評価を発表してもらいました。

### Aグループ



### Bグループ



### Cグループ



### Dグループ



### ■今後に向けて

今回で“大竹駅西口交流広場の活用方針策定ワークショップ”は、開催予定の全日程を終了しました。計3回のワークショップを通じて、延べ63名の方々にご参加いただきました。ワークショップは予想以上に盛り上がり、たくさんのアイデアや気づきをいただきました。ご参加いただいた皆様、貴重なご意見をありがとうございました。

今後は、みなさんに頂いたアイデアを実現するために市で検討を進め、令和2年度中に結果をご報告する予定です。今後とも御協力と御支援をお願いいたします。

